

# 第3回こうち若者サポートステーション講演会

## 子ども信じて向き合って

非行や不登校、引きこもりの若者との向き合い方を県内の教職員らが学ぶ講演会がこのほど、高知市朝倉茂の県立ふくし交流プラザで開かれ、非行に走った少年少女の支援活動が続ける高坂朝人さん(33)＝愛知県＝が「子どもたちを信じて根気強く向き合ってほしい」と呼び掛けた。

（村中澄恰）

### 非行問題 支援の男性講演 高知市



「全ての非行少年は絶対変わる」と話す高坂朝人さん（高知市の県立ふくし交流プラザ）

鑑別所での面会相談、退院後の支援などに当たっている。

講演では、自身の少年時代を「僕は犯罪者でした」と率直に振り返った。校則違反をした際、友達に「たっかん、すごいじゃん」との言葉を掛けられ、劣等感を抱えた自分が初めて認められたと感じたという。そして、道を外していく経緯を語った。

高坂さんは「どんな非行少年でも未来は変えられる。でも、一人では変えられない」が持論。5日の講演でもそれに沿って「(非行少年だった)自分自身が自分を変えられたのだから、そう言える」「たっかんの人に支えられた。家裁の調査官が『高坂君は絶対立ち直れる子だと信じています』と涙を流して言ってくれたのが忘れられない」と語り、大人の存在の大切さを強調した。

講演会ではこのほか、日本福祉大学教授で元保護観察官の木村隆夫さん(67)＝岐阜県＝が、家庭の中で問題を解決しようと思わず、行政や民間、学校など地域の資源を探ることの大切さを訴えた。

高坂さんは広島県出身で、現在はNPO法人再非行防止サポートセンター＝愛知の代表。少年院や

髪を染め、たばこ、万引、暴走族への加入。13〜24歳の間に15回逮捕

講演会は、こうち若者サポートステーションが主催。教員や福祉関係者ら約100人が耳を傾けた。